



今回は、岐阜県スーパーハイスクールセッション(SSS)の活動紹介です。

◇ 県内 7 校が集うスーパーハイスクールセッション

スーパーハイスクールセッション (SSS) とは、県内のスーパーグローバルハイスクール (大垣北・関)、スーパーサイエンスハイスクール (恵那・岐阜農林)、スーパープロフェッショナルハイスクール (大垣桜・県岐商・岐阜工業) の計 7 校から意欲のある生徒が集まり、おたがいの研究成果を生かして連携し、自発的で自由なアイデアを出し合いながら、新事業を企画するイベントです。

本年度、7 月 3 日 (日)、7 月 23 日 (土)、10 月 2 日 (日)、12 月 13 日 (火) の 4 日間、県立岐阜商業高校を会場に、ディスカッションやセミナー、プレゼンが行われました。本校からは 3 年生 1 名、2 年生 5 名、1 年生 2 名の計 8 名が参加しました。学校の枠を超えてグループを結成し、観光や一次産業等の各種統計を活用しながら、「岐阜県をもっと元気にする方法」について話し合い、グループごとに提言をまとめました。

◇ 当日の様子

第 1 回 (7 月 3 日)

午前中は各校の取り組みを順番にプレゼン。午後、グループに分かれて「岐阜県をもっと元気にする方法」について討論し、グループごとに成果を発表。討論の時間には、初顔合わせのメンバーとは思えないほど、活発な意見交流が行われました。

第 2 回 (7 月 23 日)

午前中は有識者によるセミナーに参加。清水浩二氏 (県商工労働部)、横山幸司氏 (滋賀大学)、多保隆宏氏 (十六銀行) の講義を受講。午後は前回同様、グループごとの討論を続け、最後に提言を発表。同日、国会議員 (鈴木馨祐氏)、岐阜県議会議員 (長屋光征氏) の視察もあり、発表についての講評をいただきました。

第 3 回 (10 月 2 日)

午前、午後ともにグループセッションを継続。各グループの発表に関し、加藤直樹氏 (岐阜大学総合情報メディアセンター教授) より講評をいただきました。

第 4 回 (12 月 13 日)

午前中はグループごとにプレゼンの準備。午後は各グループによる口頭プレゼンと質疑応答。各グループからは、特産品を生かした「寄り道大作戦」、柳瀬商店街再開発プラン、全県各所を結ぶ農業法人化計画、高校生による観光案内所、隣県をベンチマーキングした観光戦略、ウェブサイトの積極活用、特産品からすみの全県的展開など、創意工夫あふれる提案が次々と出されました。また、質疑応答も予定時間を超えるほど活発に行われました。

発表を行った 7 グループの中から最優秀賞および優秀賞が選ばれ、来賓、審査員より講評をいただきました。来賓、審査員は以下の方々です。

【来 賓】 加藤弘樹氏 (内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官)
長屋光征氏 (岐阜県議会議員)

【審査員】 加藤直樹氏 (岐阜大学)、塩見善彦氏 (十六銀行)、清水浩二氏 (県商工労働部)
高木俊明氏 (県教育次長)

◇ 参加した生徒の感想

■私はこのような素晴らしいセッションに、関高校代表として参加できたことを誇りに思います。私は中学校まで表立ったことをしたことがありませんでした。高校では変わりたいと思って参加したのがこの企画だったのですが、いろんな経験ができて本当に収穫のあるものとなりました。

プレゼンなど人前で話すことに苦手意識を感じていた私ですが、他校の先輩方と意見を交わすうちに緊張感が薄れ、連帯感を築くことができました。プレゼンも前よりは緊張しなくなり、周

りを見て焦らず話せるようになったことに、我ながら成長したなあと思いました。

また、様々な分野での専門家の方々、アメリカの若手政治家の方々も来賓として来られました。そこで、県からだけでなく、外国の方からも注目される会に参加できていることを誇らしく思いましたし、この会に参加できてよかったと改めて感じました。来年このような機会があれば、また参加して岐阜を盛り上げていきたいです。1年生で未熟な部分もあり、皆さんに迷惑をかけたところもあるかと思えます。そこで、2年生になった時に1年生をリードできるようにしたいと思いました。最後になりましたが、このような素晴らしいセッションに参加できて、本当によかったです。ありがとうございました。

■全4回のSSSに参加して、自分は人前で話す力が少し伸びたように感じます。他校の参加生徒の子たちは本当に話がうまくて、笑いを誘うのにも長けていて、第一回目で驚いたのを覚えています。自分は今まで、人前で話す時は原稿を覚えるのが普通で、話すというよりも暗唱していただけでした。しかし、専門分野が異なるユニークな仲間と一緒に話しあいをすることで、壁がなくなって、人前も多少平気になりました。いい力が身についたなと思えます。

また、ほかの学校の生徒の中には、もう専門分野に精通して、既に研究者のような人もいました。社会人への道において、一步先にいるそんな子たちに尊敬の念を覚えました。僕も、負けなように今は高校の勉強を頑張ります。

以上のように、岐阜県活性化はもちろんです。他校の人々との交流が、僕にとっての一番の収穫です。こんな経験をさせてくださった県教育委員会の方々、そして関わった学校の先生方、生徒のみなさんに感謝します。ありがとうございました。

■今回、4回に渡ってSSSに参加して一番良かったと思うのは、他校の人と交流できたということです。普通科だと受験メインで座学中心ですが、工業デザイン、服飾など全然違う高校生と仲良くなって、たくさん話を聞くことができ楽しかったし、嬉しかったです。

また、今まで岐阜県について普段考えることはありませんでした。けれどSSSに参加して、親とも今後の岐阜県を話題にして会話したり、メディアを活用して岐阜県を調べたり、自分の考えや行動範囲を広げられました。そして、人前で、県や国で働いている方々にプレゼンをするという経験は非常に貴重だったと思います。学校だけではどうにもならない体験をさせていただいて有意義な時間を過ごせました。実を言うと、第1回のSSSは凄く面倒だなと考えていました。でも、終わってみると自分の世界を広げて、新たな仲間が出来て、得られたものがあふれるぐらいで、絶対これは未来の糧になると、強く言えます。

1年半後、私は大学に行きます。岐阜県にはいないと思います。けれど、他の地域で、岐阜県ってね、と自信を持って伝えられる様にSSSをきっかけとして、もっと岐阜県を私達のふるさとを知っていきたいです。

■合計で4回のスーパーハイスクールセッションに参加し、多くの貴重な体験を経験することができました。様々な高校が集まり、議論をすることはとても面白かったです。班内で協力し合い発表を成功させることができやりがいを感じました。

■この、活動を通して多くの他校の生徒との交流を深めることができました。また、この活動はプレゼンテーションが上手な人が集まるので、とても勉強になりました。全4回を通じて思ったことは、活動自体がAL(アクティブラーニング)だったということです。何より楽しいと感じられるものになりました。



プレゼンへの質疑応答の様子